

平成24年度 通常総会議案

平成24年度通常総会は、平成24年4月27日に開催され、以下の総会議案がすべて原案通り承認されましたので、お知らせします。

平成23年度事業報告（第1号議案）

I. 事業の概要

1. 研究発表会（定款第5条1号）

- (1) 3月17日、18日の両日、電気通信大学にて第109回研究発表会を下記特別講演案を含み開催予定であったが、3月11日発生の東日本大震災によりやむなく中止とした。但し、論文は受けつけ、アブストラクト集は公式に発行した。（論文数113件）

- ・特別テーマ「楽しみのOR」
- ・特別講演案（一般公開）

- 1) 日本の国際競争力の現状と課題～我がOR学会に求められるもの～

日本OR学会会長 数土文夫
(JFEホールディングス相談役)

- 2) 確率ネットワークの漸近特性：幾何学的表現とその応用

近藤賞受賞者 宮沢政清（東京理科大教授）

- 3) コンピュータ・エンタテインメントの未来

電気通信大学特別客員教授 久野良木健
(サイバーアイ・エンタテインメント(株)
代表取締役社長)

- (2) 9月15日、16日の両日、甲南大学岡本キャンパスにおいて、第110回研究発表会を開催した。

- ・特別テーマ「情報社会とOR」
- ・特別講演（一般公開）

- 1) 日本の国際競争力の現状と課題～我がOR学会に求められるもの～

日本OR学会会長 数土文夫
(JFEホールディングス相談役)

- 2) 確率ネットワークの漸近特性：幾何学的表現とその応用

近藤賞受賞者 宮沢政清（東京理科大教授）

- 3) 総合情報産業とOR—安全安心な社会のために—

稲垣嗣夫（神戸新聞社相談役）

- 4) 記録への挑戦—スポーツ（陸上競技）を通じて伊東浩司（甲南大学准教授）

- ・発表件数 186件

- ・参加者数 482名

2. シンポジウム（定款第5条1号）

- (1) 3月16日、電気通信大学において、第65回シンポジウム「パズルとゲームの計算理論」を開催する予定であったが、東日本大震災により中止とした。

- (2) 9月14日、甲南大学岡本キャンパスにおいて、第66回シンポジウム「モノづくりに活かされる知能化・最適化」を開催した。講演5件。参加者は34名であった。

3. 普及活動（定款第5条1号）

- (1) ORセミナー

- ・第1回「実践最適化—最適化の基本から実務に使えるモデリングとその応用—」を10月21日、(株)構造計画研究所本所新館にて開催した。参加者21名。

題 目	講 師
最適化（数理計画）問題の基礎	藤澤克樹 (中央大学)
Pythonを用いたお気楽最適化とその実践	久保幹雄 (東京海洋大学)
最適化技術を用いた実システムの開発事例	國信茂太・大槻知史 (株)東芝
最適化技術を用いたソリューション事例紹介	江崎洋一 (キャノンITソリューションズ(株))

- ・第2回「OR活用事例—ビッグデータとOR—」を12月9日、(株)構造計画研究所本所新館にて開催した。参加者19名。

題 目	講 師
ビッグデータとOR—ビジネスインテリジェンスの観点から—	中川慶一郎 (株)NTTデータ
ITS分野でのデータ活用—最近の動向から—	佐藤彰典 (日本電気(株))
スマートエネルギーネットワークへの取組—エネルギー分野での活用事例—	進士誉夫 (東京ガス(株))
日常生活センシングで将来の生活はどう変わる—行動認識研究の最新動向—	前川卓也 (NTTコミュニケーション科学基礎研究所)

- (2) ORサロン

「ORサロン：レクチャーシリーズ」のテーマは、昨年度に引き続きサービス・イノベーションを取り上

げ、4回の会合を開催した。

開催	テーマとゲストスピーカー	参加者
第1回 (H23.10.24) 於：東京	グローバル社会で勝ち残る会社と人材をつくる—「ジャイロ経営」の実践と「骨太人材」の育成— ○ジャイロ経営塾代表 秋元征紘	25名
第2回 (H23.11.24) 於：東京	サービス・イノベーション—米国ゼロックス社の戦略とリーダーシップ— ○Xerox在日代表、富士ゼロックス(株) 監査役 塩川哲也	22名
第3回 (H24.1.17) 於：東京	地域再生と活性化による日本再生—災害復旧を超えて— ○(株)日本総合研究所 主席研究員 藻谷浩介	18名
中国四国支部・ ORサロン合同 (H24.2.18) 於：名古屋	中国地方におけるサービス産業生産向上への取り組み ○近畿大学工学部教授、次世代基盤技術研究所教授 谷崎隆士 サービス・イノベーション—米国ゼロックス社の戦略とリーダーシップ— ○Xerox在日代表、富士ゼロックス(株) 監査役 塩川哲也	21名

(3) 企業事例交流会

- ・第28回企業事例交流会は、第110回研究発表会(甲南大学岡本キャンパス)にて9月15日開催。発表件数4件。

(4) 新宿OR研究会

昭和55年創設以来、年間10回の例会を開催している。テーマはOR関係の最近の動向に留まらず会員推薦の各界の話題など極めて広範、かつ時宜に適ったもので、メンバーの啓発、懇親を行っている。会誌・ホームページ・メールマガジンに開催案内を掲載し、新宿地区を中心に会員の幅広い参加を呼びかけている。(平成23年2月例会が通算第315回)

4. 刊行物(定款第5条2号)

- (1) 機関誌「オペレーションズ・リサーチ」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行部数
平成23年3月1日	56	3	3,000部
平成23年4月1日	56	4	3,000部
平成23年5月6日	56	5	3,000部
平成23年6月1日	56	6	2,800部
平成23年7月1日	56	7	2,800部
平成23年8月1日	56	8	2,800部
平成23年9月1日	56	9	2,800部
平成23年10月1日	56	10	2,800部
平成23年11月1日	56	11	2,800部
平成23年12月1日	55	12	2,800部
平成23年12月28日	57	1	2,800部
平成24年2月1日	57	2	2,800部

- (2) 論文誌 (Journal of the Operations Research Society of Japan), 和文論文誌 (Transactions of the

Operations Research Society of Japan) を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行部数
平成23年3月25日	54	1	130部
平成23年9月28日	54	2	130部
平成23年9月28日	54	3	130部
平成24年1月15日	54	4	130部
平成24年1月15日(和文)	54		80部

2・3は合併号

- (3) 研究発表会アブストラクト集およびシンポジウム予稿集

春季・秋季研究発表会のアブストラクト集およびシンポジウム予稿集を発行した。

- (4) セミナーテキスト

「最適化のモデリング、ソフトウェア、その最新動向」に関するテキストを発行した。

5. 日本学術会議並びに他学協会との連携・協力(定款第5条3号)

- (1) 日本学術会議関連

平成23年8月から高橋幸雄氏(OR学会元副会長・東京工業大学名誉教授)が第22期の連携会員になっており、総合工学委員会・機械工学委員会合同工学システム」に関する安全・安心・リスク分科会に所属している。なお、FMES関連では他に圓川隆夫氏(日本品質管理学会)、向殿政男氏(日本信頼性学会)が連携会員となっている。

- (2) 経営工学関連学会協議会(FMES)関連

経営工学関連8学会で構成する当協議会には、代表者会議のメンバーとして香田正人氏(筑波大学)、小沢利久氏(駒澤大学)が参加している。平成23年度のFMESの活動は以下の通り、シンポジウム開催およびJABEE認定審査であった。なお、平成22年度から平成24年度まで本学会が事務局を担当する。

①シンポジウム委員会

平成23年度のシンポジウム(第27回)は、設備管理学会が幹事学会にて、平成23年10月14日「危機に強い製造業のマネジメントと設備管理」をテーマに、青山学院大学総合研究所ビル内において開催された。

②FMES/JABEE委員会

当学会からは運営委員に、小沢利久氏・井上明也氏が派遣されている。また、審査委員会にも当学会関係の有資格者を派遣し、経営工学分野のJABEE認定審査に協力している。

- (3) 日本技術者教育認定機構(JABEE)

当学会は2001年2月に正会員として加入(会費

10万円)するとともに上記FMESグループとして加入しており、JABEEに関連した活動はFMES/JABEE委員会を通じて行っている。なお、現在はFMES副会長の渡邊一衛氏(設備管理学会・成蹊大学)がJABEEの理事となっている。

(4) (社)日本工学会関連

工学系101学協会の連合体である(社)日本工学会の諸活動に協力している。また同会事務研究委員会に委員1名(事務局長)が参加している。

(5) 横断型基幹科学研究団体連合(略称:横幹連合)

この連合は、「基幹科学」の発展と振興をめざし、平成17年10月に特定非営利活動法人として設立されたものであり、計測自動制御学会、FMESメンバーなど40の学協会が加盟している。今年度からは「震災克服研究の連携などの活動を進めている。本学会からは代議員として小沢利久氏が派遣されている。

6. 他学協会との交流(定款第5条3号)

他学協会の下記講演会等に協賛、後援した。

- ・2011年春季全国研究発表会(経営情報学会)
- ・2011年秋季全国研究発表会(経営情報学会)
- ・計測自動制御学会関西支部「平成23年度講習会」(計測自動制御学会)
- ・計測自動制御学会システム・情報部門学術講演会2011(計測自動制御学会)
- ・スケジューリング・シンポジウム2011(スケジューリング学会)
- ・筑波大学と地元高校との高大連携シンポジウム2011(筑波大学)
- ・電子・情報・システム部門大会(電気学会)
- ・第41回信頼性・保全性シンポジウム(日本科学技術連盟)
- ・第13回日本感性工学会大会(日本感性工学会)
- ・生産システム部門研究発表講演会2011(日本機械学会)
- ・第54回自動制御連合講演会(日本機械学会、他)
- ・標準化と品質管理全国大会2011(日本規格協会)

- ・第30回日本シミュレーション学会大会(日本シミュレーション学会)
- ・第18回春季信頼性シンポジウム(日本信頼性学会)
- ・第19回秋季信頼性シンポジウム(日本信頼性学会)
- ・第27回ファジイシステムシンポジウム(日本知能情報ファジイ学会)
- ・計測・制御・システム工学部会シンポジウム(日本鉄鋼協会)
- ・2011年研究発表大会(日本リアルオプション学会)
- ・教育フォーラム2011(プロジェクトマネジメント学会)

7. 国際協力(定款第5条3号)

- (1) IFORS(International Federation of Operational Research Societies)を通して各国のOR学会との交流、協力を図った。特に2011年度にオーストラリアで開催されるIFORS2011に関して、会員のセッションへの申し込みの勧誘を活発に行った。
- (2) APORS(Association of Asian-Pacific Operational Research Societies)を通して、アジア・太平洋地域のORの発展と加盟学会の情報交換に協力した。APORS2012が7月28日～30日に中国西安で開催される予定である。組織委員会に土谷隆氏(政策研究大学院大学)が参加している。
- (3) IAOR(International Abstracts in Operations Research)の編集、発行に協力し、日本の文献抄録を送付するとともに、IAORの国内頒布に協力した。
- (4) APJOR(Asia-Pacific Journal of Operational Research)の編集、発行、頒布に積極的に協力した。
- (5) EJOR(European Journal of Operational Research)の編集、頒布に協力した。

8. 受託研究活動(定款第5条4号)

学会の公益活動の一環として、本年度も前年度に引き続き、(財)グローバル・インフラストラクチャー研究財団からの受託研究を「持続可能社会のためのインフラストラクチャー戦略」研究部会を窓口を実施した。

9. 研究部会・研究グループ(定款第5条4号)

研究部会・研究グループ終了/中間報告

	常設部会	主査, 幹事	メンバー	開催	内容	場所
1	待ち行列	高橋 豊 (京都大学) 増山博之 (京都大学)	25名	6回	6回の部会(講演12件)において、待ち行列及び関連分野の研究動向について意見交換を行った。部会研究奨励賞により学生3名を表彰した。延参加者160名。	京都大学、他

2	数理計画 (RAMP)	加藤直樹 (京都大学) 藤澤克樹 (中央大学)	30名	1回	10月24・25日に第23回シンポジウムを開催した。数理計画・最適化の理論及び応用の最前線で活躍している16名の研究者を講演者として招いた。多くの研究者や学生が参加し、最先端の研究成果について情報交換を行った。延参加者117名。	関西大学
3	評価のOR	上田 徹 (成蹊大学) 廣津信義 (順天堂大学)	11名	5回	年5回の定例研究会を開き、毎回2名の講演者を招くことで、DEAを主にORでの評価手法・意思決定手法に関して計10件の講演を行った。またOR学会春季・秋季研究発表会で「評価のOR」セッションを開催した。延参加者56名。	政策研究大学院大学
4	意思決定法	大屋隆生 (国土館大学) 佐藤祐司 (三重中京大学)	24名	5回	AHPを中心とした意思決定法に関する発表により、意思決定手法の理解を深め、企業や行政などの政策立案評価、マネジメントにおける適用性を高めることができた。延参加者41名。	国土館大学
5	サプライチェーン戦略	高井英造 (フレームワークス) 草刈君子 (サイテック・ジャパン)	43名	8回	サプライチェーンにおける経営戦略、実施戦略、戦略的ビジネスプロセス、グローバルSCM、OR手法の適用について、事例と理論の両面から研究する。延参加者284名。 http://scs.blog.so-net.ne.jp/ 参照	青山学院大学 総研ビル

	研究部会	主査、幹事	メンバー	開催	内容	場所
1	計算と最適化の新展開	藤澤克樹 (中央大学) 後藤順哉 (中央大学)	19名	3回	毎回2名の講演者を招き、計算及び最適化に関する研究発表を行った。5月下旬に2日間に亘る合宿形式の研究会を行い、12件の特別講演と25件の一般発表を行い、優れた発表7件を表彰した。延参加者176名。	中央大学 (2回), 筑波大学 (1回)
2	数理モデルとその応用	桑野裕昭 (金沢学院大学) 杉原一臣 (福井工業大学)	9名	5回	数理モデルをキーワードとして、北陸地区において5回の研究集会を開催し、計13件の研究報告があった。OR周辺領域からも講演者を招き、理論から応用まで幅広いテーマについて議論し、研究交流を行った。延参加者56名。	金沢学院大学, 福井工業大学, 他
3	政治と社会と行政のOR	大山達雄 (政策研究大学院大学) 田中健一 (電気通信大学)	20名	5回	毎回2名の講師を招き、公共諸部門や社会システム全般における問題解決、意思決定、政策の策定と評価等、ORの理論と手法の幅広い応用に関する発表を行っていただき、参加者間で積極的な議論を行った。延参加者177名。	政策研究大学院大学
4	OR横断若手の会	林 俊介 (京都大学) 福永拓郎 (京都大学)	9名	5回	本年度は5回の研究部会を開催し、学生及び若手研究者によって、ORの様々な分野についての研究発表が行われた。また昨年に引き続いて合宿を開催し、全国から35名弱の参加者を集め、活発な研究交流が行われた。延参加者124名。	京都大学
5	防衛と安全 (同一名称2期目)	片山隆仁 (ボーイング・ジャパン) 小宮 享 (防衛大学校)	15名	8回	防衛と安全に関する様々な問題について、8回の研究会を開催。また、秋季研究発表会では「防衛と安全」という2セッションを設け研究発表を実施した。さらに、主要なメンバーを中心に、防衛大学校での春季シンポジウム・研究発表会の開催を計画した。延参加者284名。	政策研究大学院大学
6	持続可能社会のためのインフラストラクチャー戦略	三浦英俊 (南山大学) 高嶋隆太 (千葉工業大学)	22名	11回	持続可能社会の実現という視点から、インフラストラクチャーに関わる諸問題に取り組んだ。とりわけ、①電気自動車スタンド、②公民連携、③北極海航路、④海賊問題と運河、といったテーマで研究を推進した。延参加者101名。	日本GIF財団
7	確率最適化モデルとその応用	穴太克則 (芝浦工業大学) 堀口正之 (神奈川大学)	14名	6回	今年度もDPに関するシンポジウムを開催し、3日間延べ16の講演。INFOMS (APA) では、部会メンバーによる特別セッション開催、IFORSでのメンバーによる講演など研究成果発表を積極的に行った。延参加者51+α名。	芝浦工業大学, 上智大学, 他

8	サービスサイエンス	高木英明 (筑波大学) 雑賀憲彦 (名城大学)	30名	5回	サービス産業の生産性向上とイノベーションに向けて、数理最適化や待ち行列等のオペレーションズ・リサーチの手法で問題の発見と解決を試みるテーマを中心に、14の発表。延参加者120名。	筑波大学、名城大学、京都大学
9	サービス産業における最適化と意思決定	伊藤 健 (東北大学) 蓮池 隆 (大阪大学)	14名	5回	サービス産業、あるいは公共サービスを対象とした最適化・意思決定モデル、について研究を行ってきたが、多方面での事例や取組に接することにより、本分野に特徴的に存在する制約や問題点を共有化。延参加者72名。	流通科学技術大学、他
10	食料・農業・環境における意思決定	鹿内健志 (琉球大学) 加島智子 (近畿大学)	12名	5回	食料・環境に関わる問題解決の理論・技術や実践的取組について、メンバーを含む産官学各分野の方々や情報交換し、問題解決に向けたOR的アプローチに意思決定のあり方や今後の課題について理論と応用の両面から議論を深めた。発表16件、延参加者74名。	琉球大学農学部、他
11	先端マーケティング分析	鈴木秀男 (慶應義塾大学) 横山 暁 (帝京大学)	12名	6回	ゴルフ関連のWebサイトのアクセスログ等のデータを提供した「データ解析コンペティション」開催。学生・一般・課題設定部門合わせて31チームの参加者を交えて活発な討論を行った。延参加者200人。	慶應義塾大学
12	不確実性環境下での意思決定科学	三道弘明 (大阪大学) 小出 武 (甲南大学) 北條仁志 (大阪府立大学)	14名	6回	不確実性を科学的に取り扱う古典的な手法や応用ばかりでなく、新たな手法(現代制御理論の適用など)の提案並びに応用分野(マーケティング戦略)などの講演を拝聴し、意見交換、情報交換した。延参加者137名。	大阪大学、大阪府立大学

	研究グループ	主査、幹事	メンバー	開催	内容	場所
1	都市のOR	腰塚武志 (南山大学) 大澤義明 (筑波大学)	50名	2回	サマー・セミナーを8月25・26日に小樽商科大学で開催し10件の発表と50名の参加者があった。ウィンター・ワークショップを12月17・18日南山大学で開催し23件の発表と64名の参加者があった。	小樽商科大学、南山大学

10. 表彰(定款第5条5号)

表彰規定の見直しを行い、文献賞は研究賞、文献賞奨励賞は研究賞奨励賞に名称を変更し、論文賞が新設された。また、選考スケジュールの見直しにより、普及賞、実施賞、業績賞は春季研究発表会、研究賞、研究賞奨励賞、論文賞、事例研究賞、学生論文賞は秋季研究発表会において表彰することとなった。

(1) 日本オペレーションズ・リサーチ学会普及賞

第37回普及賞の選考を行い、以下のとおり決定した。

- ・真鍋龍太郎(文教大学)
- ・鈴木道夫((財)電力中央研究所)

(2) 日本オペレーションズ・リサーチ学会実施賞

第36回実施賞の選考を行い、下記のとおり決定した。

株式会社 構造計画研究所

(3) 日本オペレーションズ・リサーチ学会業績賞

第13回業績賞の選考を行い、以下のとおり決定した。

加藤直樹(京都大学)

(4) 日本オペレーションズ・リサーチ学会学生論文賞

第29回学生論文賞の選考を行い、以下のとおり決

定し、授賞を行った。

- ・重み付き最大独立集合問題に対する大規模な近傍を用いた局所探索法
糸柳順慈(名古屋大学大学院・修士論文)
- ・現実的な制約を顧慮した優等列車停車駅の決定
岡田佳也(東京農工大学・卒業論文)
- ・0-1整数変数を含む非凸2次最適化問題に対する面的縮小を用いた非負半正定値緩和
田中未来(東京工業大学大学院・修士論文)
- ・FIFOキャッシュアルゴリズムの流体解析
塚田直樹(東京工業大学大学院・修士論文)
- ・非負半正定値計画問題に対する主バリア関数法
松川恭明(筑波大学大学院・修士論文)

11. 広報関連(定款第5条2号及び3号)

(1) ウェブサイトの拡充

会員サービス向上を目指して、学会ウェブページのサイト構成ならびに提供コンテンツの見直しを行った。タイムリーな情報提供を実現するために、CMS(Content Management System)の導入を検討し、新規サーバへの移行時に実装することとした。

(2) ウェブサイト運用ルールの策定

未整備であった学会ウェブページの運用ルールにつ

いて整備した。各委員会との役割分担等を明確化し、実施に移行した。

(3) 新規サーバへの移行

PDFで公開している論文へのアクセスなど、増加するトラフィックへの対応をはかるため、サーバ環境の検討を行い、新規サーバ提供業者の選定を行った。現在、CMSの導入ならびにデータの移行中である。

(4) バナー広告の検討

学会ウェブサイトへのバナー広告の掲載について検討を行った。庶務理事・庶務幹事会による議論のもとに、学会ウェブサイトへのバナー広告の掲載を可能とした。引き続き、価格付けについて検討している。

(5) ORアーカイブ集の整備・充実

アーカイブ集の整備を進めた。

(6) OR事典Wikiの充実

OR事典編集委員会が主体となって、学会が提供する事典としての利用価値の維持・向上を目的として、OR事典Wikiの編集・追補を行った。

(7) メーリングリストの活用

会員が主体となって活発な情報交換の場として機能している。その維持管理を行った。

(8) メールマガジンの充実

月2回の発行（年24回）を堅持した。公益法人化に関する情報等、カレントな情報をタイムリーに配信した。

(9) その他

文部科学記者会等のメディアの利用を実践した。秋季研究発表会については、文部科学記者会への記事の投げ込みを行った。

12. 支部活動（定款第5条1・2号及び3号）

(1) 関西支部

①支部総会・記念講演会

平成23年3月26日(土) 13:30～16:00

(大阪府立大学中之島サテライト)

記念講演会 神山直之(中央大学)

「動的ネットワークフロー概論」

(Alcatel/Lucent Technologies, USA)

②運営委員会

平成23年3月26日(土) 16:00～17:00

(大阪府立大学中之島サテライト)

平成24年1月24日(火) 18:30～20:30

(学校法人常翔学園 大阪センター)

③研究講演会

平成23年11月4日(金) 13:30～17:00

(大阪工業大学大宮キャンパス)

テーマ「技術、工学、経営を融合する」

講演3件 参加者34名

④関西支部産学官交流会

平成23年11月26日(土) 13:30～17:30

(大阪府立大学中之島サテライト)

テーマ「インテリジェント技術とOR」

講演6件 参加者41名

⑤オペレーションズ・リサーチ誌特集号の編集

⑥支部ニューズレター 1回発行

⑦支部ホームページの運営

(2) 中国四国支部

①支部総会

平成23年3月25日(金) 14:45～15:45

(RCC文化センター)

②運営委員会

・平成23年3月25日(金) 13:45～14:30

(RCC文化センター)

・平成23年12月26日(月) 17:00～17:50

(鯉城会館)

③定例シンポジウム

平成23年10月28日(金) 14:30～17:20

(鳥取大学工学部) 講演6件

④講演会

・第1回 平成23年3月25日(金)

16:00～16:50

(RCC文化センター)

「人との出会いを振り返ると」

亀山嘉正(岡山県立大学情報工学部)

・第2回 平成23年8月3日(水)

12:50～14:20

(広島大学工学部)

“Solving Renewal Integral Equations, a problem with the reliability of software”

Xie Min (The City University of Hong Kong)

・第3回 平成23年11月28日(月)

13:30～14:30

(広島大学工学部)

「Customer-Perceived Software Reliability: Measurement, Prediction, Application」

奥本和平

・第4回 平成24年1月24日(火)

16:30～17:45

(鳥取大学工学部)

“Tackling Climate Change: A System of Systems Engineering Perspective”

“Fulfillment and Success in Research” (2件)

Keith W. Hipel

(University of Waterloo, Canada)

⑤研究部会

「SCM&サービス工学」

・第1回 平成23年10月1日(土)

14:00～17:30

(広島経済大学立町キャンパス)

- ・第2回 平成24年2月18日(土)
14:00～17:30 (広島ハイビル21)
「地方都市の数理解析」
- ・第1回 平成23年11月14日(月)
16:00～18:00 (鳥取大学工学部)
- ・第2回 平成24年2月2日(木)
16:30～17:30 (鳥取大学工学部)
- ・第3回 平成24年3月2日(金)
13:30～14:30 (鳥取大学工学部)

⑥協賛研究会

- ・平成23年11月18日(金)
The Fourth Japan-Korea Software Management Symposium

(3) 中部支部

①支部総会

- 平成23年3月12日(土)
12:50～13:20 (中部品質管理協会)

②運営委員会

- ・平成23年3月12日(土) 12:00～12:50
(中部品質管理協会)
- ・平成23年12月10日(土) 13:45～14:15
(中部品質管理協会)
- ・平成23年3月12日(土) 11:00～12:00
(中部品質管理協会)

③幹事会

- ・平成23年4月23日(土) 16:00～17:30
(中部品質管理協会)
- ・平成23年6月18日(土) 11:00～12:30
(南山大学)
- ・平成23年9月9日(金) 10:30～12:00
(中部品質管理協会)
- ・平成23年12月10日(土) 10:30～12:30
(中部品質管理協会)
- ・平成24年1月28日(土) 10:00～11:30
(中部品質管理協会)

④特別講演・支部研究発表会

- ・平成23年3月5日(土) 13:30～19:00
参加者62名
特別講演「今、話しておきたいこと」

本告光男

第38回支部研究発表会 発表件数16件

⑤第8回シンポジウム

- ・平成23年9月9日(金) 13:30～17:30
(Winc Aichi 15F) 参加者72名

テーマ:「身近にあるスケジューリング問題」

⑥支部講演会

- ・平成23年12月10日(土) 14:30～16:45
(中部品質管理協会) 参加者21名

⑦支部研究会

- ・平成23年6月18日(土) 12:45～17:50
(南山大学) 参加者64名

⑧賛助会員との情報交換会

- ・平成23年4月1日(金) 16:45～18:45
(中部品質管理協会)
- ・平成23年7月6日(水) 16:30～18:30
(名古屋大学)

⑨刊行物

- ・支部ニュース(4回)
- ・第38回支部研究発表会アブストラクト集
- ・第8回日本OR学会中部支部シンポジウム講演資料集
- ・ORコラム(webコンテンツ)(25回)

(4) 東北支部

①支部総会

- 平成23年5月27日(金) 16:00～17:00
(東北大学経済学研究科棟)

②運営委員会

- 平成23年5月27日(金) 16:00～17:00
(東北大学経済学研究科棟)

③講演会

- 平成24年2月20日(月) 16:30～18:00
(仙台国際センター)
「コンパクトシティから震災後の都市・地域復興を考える」
三浦英俊(南山大学)

④シンポジウム

- 「最適化シンポジウム2011～災害支援におけるサービス科学」
(共催) 講演4件
平成23年10月27日(木) 13:00～16:40
(東北大学エクステンション教育研究棟)

⑤支部事業

- 福島県における原子力発電所事故被災地における除染調査

(5) 九州支部

①支部総会

- 平成23年3月26日(土) 15:00～15:40
(福岡大学七隈キャンパス)

②運営委員会・幹事会

- ・平成23年7月23日(土) 13:00～14:00
(九州工業大学サテライト Kyutech プラザ)

- ・平成23年12月3日(土) 13:00～14:30
(西南学院大学学術研究所)
- ・平成24年3月31日(土) 13:30～14:30
(九州大学西新プラザ)

「マリンIT分野の開拓」

和田雅昭 (公立ほこだて未来大学)

- ・平成24年2月29日(水) 15:00～17:00
(北海道大学)

「遺伝的アルゴリズムを用いた旅館従業員のスケジューリング」

村上嘉代子 (芝浦工業大学)

「旅行者側からみたモバイル観光情報ツール」

倉田陽平 (首都大学東京大学院)

③講演会・研究会

- ・平成23年3月26日(土) 15:45～17:15
(福岡大学七隈キャンパス)

「【日本の物づくりと人づくり】…私の経験から」

安元弘道 (昂学園 専務理事)

- ・平成23年7月23日(土) 14:30～17:15
(九州工業大学サテライト Kyutech プラザ)

「ネットワークにおける資源割り当てと公平性」

鶴 正人 (九州工業大学大学院情報工学研究院)

「望ましい社会的選択規則の設計可能性」

佐藤 伸 (福岡大学経済学部)

「悪意あるユーザ存在下での自律復旧型ネットワーク」

山内 由紀子

(九州大学大学院システム情報科学研究院)

- ・平成23年10月30日(日) 9:00～10:00
(島原共同研修センター)

「ある開発型投資プロジェクトの意思決定について」

津留崎 和義 (長崎大学経済学部)

- ・平成23年12月3日(土) 15:00～17:30
(西南学院大学学術研究所)

「商品普及過程とその欠測データに関する一考察」

田中 謙一郎 (西南学院大学商学部)

「近代福岡・北九州の街づくりに関与した実業家2人—渡邊與八郎と太田清藏」

吉富 実

(西日本鉄道(株) 広報室アーカイブ活用課)

「Dynamic labor demand with flexible contract」

畔津憲司 (北九州市立大学経済学部)

④九州地区における若手研究交流会

- ・平成23年10月29日(土)～30日(日)
(島原共同研修センター)
発表15件 参加者33名

(6) 北海道支部

①支部総会

- 平成23年3月31日(木) 18:00～19:00
(小樽商科大学札幌サテライト)

②運営委員会・幹事会

- ・平成24年2月29日(水) 16:00～17:00
(北海道大学)

③講演会

- ・平成23年10月24日(月) 16:30～17:45
(北海道大学)

④支部ホームページの改訂を行った。

II. 処務の概要

1. 役員に関する事項

理事 (非常勤)

定数: 12人から18人 (現在: 18人),

任期: 2年

監事 (非常勤)

定数: 2人 (現在: 2人), 任期: 2年

2. 職員に関する事項 (略)

3. 会議に関する事項

(1) 臨時総会

開催年月日	議事事項	結果
平成23.10.7	1. 住所変更に伴う定款変更の件	承認
平成24.2.24	1. 平成24年度事業計画の件 2. 平成24年度収支予算の件	承認 承認

(2) 通常総会

開催年月日	議事事項	結果
平成23.4.22	1. 平成22年度事業報告の件 2. 平成22年度収支計算報告および監査報告の件 3. 公益社団法人移行の件 4. 定款改訂の件 5. 諸規定変更平の件 6. 平成23年度24年度役員承認の件	承認 〃 〃 〃 〃 〃

(3) 理事会 (略)

(4) 支部長会議 (略)

(5) 委員会・幹事会 (略)

4. 許可・認可・承認・証明に関する事項

- (1) 文科省に学会事務所移転に伴う「定款変更」届出し、平成23年10月20日認可された。
- (2) 内閣府に「公益社団法人への移行認定」を申請し、平成24年2月20日認定された。
- (3) 「公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会」として、平成24年3月1日登記された。

5. 契約に関する事項 (略)

6. 寄付金に関する事項

該当なし

7. 主務官庁からの連絡事項等（略）

8. 会員状況

今次承認を含む 24.2.29現在	11	1894	177	38(47)	22(22)	2142(69)	▲56
----------------------	----	------	-----	--------	--------	----------	-----

() 内は口数

平成23年度入退会状況

	名誉 会員	正会員	学生 会員	賛助会員 A	賛助会員 B	合計
23.2.28	11	1966	157	43(51)	21(22)	2198(73)
入会		43	79	2(3)	3(3)	127(6)
退会	▲1	▲111	▲20	▲7(▲7)	▲2(▲2)	▲141(▲9)
移動	学→正	23	▲23			
	正→学					
	正→名	1	▲1			
資格喪失		▲26	▲17			▲43
復活			1			1
口数				(▲1)	(▲1)	
23年度累計 純増減	0	▲72	20	▲5(▲4)	1(0)	▲56(▲4)

平成23年度末支部別会員数

支 部	名誉会員	正会員	学生会員	賛助会員A	賛助会員B	合計	平成24年2月29日現在	
							個	費
北海道	0	49	2	1	0	52	▲5	▲1
東 北	1	65	5	0	0	71	▲2	▲1
中 部	0	166	19	1	1	187	1	▲1
関 西	2	262	23	5	1	293	▲4	—
中国四国	0	113	4	1	0	118	▲6	—
九 州	0	95	23	0	0	118	6	▲1
本 部	8	1144	101	30	20	1303	▲42	—
合 計	11	1894	177	38	22	2142	▲52	▲4

平成23年度財務諸表（第2号議案）

貸借対照表

平成24年2月29日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	27,757,198	16,709,537	11,047,661
現金	20,787	52,508	△31,721
振替貯金	323,812	811,005	△487,193
当座預金	0	25,586	△25,586
普通預金	27,412,599	15,820,438	11,592,161
定期預金	0	0	0
未収金	2,068,171	1,318,531	749,640
未収会費	1,036,700	1,181,050	△144,350
その他の未収金	1,031,471	137,481	893,990
前払金	260,540	599,231	△338,691
仮払金他	1,050	2,100,000	△2,098,950
流動資産合計	30,086,959	20,727,299	9,359,660
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産定期預金	5,000,000	5,000,000	0
基本財産合計	5,000,000	5,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給与引当資産	254,000	9,031,000	△8,777,000
敷金等移転準備積立金資産	0	0	0
名簿作成準備積立金資産	500,000	500,000	0
国際協力積立金資産	15,000,000	15,000,000	0

記念事業積立金資産	15,000,000	15,000,000	0
表彰事業積立金資産	7,000,000	7,000,000	0
OA化積立金資産	8,380,000	14,840,000	△6,460,000
OR事典積立金資産	4,000,000	4,000,000	0
特別研究積立金資産	5,000,000	5,000,000	0
近藤賞基金引当金資産	12,102,069	12,102,069	0
特定資産合計	67,236,069	82,473,069	△15,237,000
(3) その他固定資産			
什器備品	0	25,629	△25,629
ソフトウェア	0	58,267	△58,267
敷金・保証金	950,400	1,596,000	△645,600
その他固定資産合計	950,400	1,679,896	△729,496
固定資産合計	73,186,469	89,152,965	△15,966,496
資産合計	103,273,428	109,880,264	△6,606,836
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,354,194	3,161,475	△807,281
前受金	25,158,430	25,260,783	△102,353
前受会費	23,387,000	22,722,640	664,360
その他の前受金	1,771,430	2,538,143	△766,713
仮受金	14,400	0	14,400
預り金	70,771	730,180	△659,409
流動負債合計	27,597,795	29,152,438	△1,554,643
2. 固定負債			
退職給与引当金	254,000	9,031,000	△8,777,000
固定負債合計	254,000	9,031,000	△8,777,000
負債合計	27,851,795	38,183,438	△10,331,643
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	5,000,000	5,000,000	0
指定正味財産合計	5,000,000	5,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	0
2. 一般正味財産	70,421,633	66,696,826	3,724,807
(うち特定資産への充当額)	(66,982,069)	(73,442,069)	(△6,460,000)
正味財産合計	75,421,633	71,696,826	3,724,807
負債及び正味財産合計	103,273,428	109,880,264	△6,606,836

正味財産増減計算書

平成23年3月1日から平成24年2月29日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用収益			
基本財産受取利息	8,750	8,750	0
②受取入会金			
正会員入会金	64,500	115,500	△51,000
学生会員入会金	47,400	39,600	7,800
③受取会費			
正会員会費	28,273,100	28,238,000	35,100
学生会員会費	1,001,000	980,000	21,000
賛助会員会費	6,282,000	6,187,000	95,000
④事業収益			
会誌頒布収益	3,941,018	3,867,270	73,748
研究発表会収益	5,398,880	5,177,360	221,520
シンポジウム収益	168,000	209,000	△41,000
セミナー収益	740,000	260,000	480,000
資料等頒布収益	202,270	178,000	24,270
IAOR収益	170,000	204,000	△34,000
EJOR収益	495,000	372,000	123,000
APJOR収益	167,000	162,000	5,000
受託研究費収益	1,000,000	1,000,000	0
ORサロン収益	41,000	44,000	△3,000
⑤その他収益			
論文投稿掲載料	146,000	469,000	△323,000
広告料	5,511,075	3,846,000	1,665,075
事務委託収益	150,000	150,000	0
名簿収益	0	0	0
⑥受取寄付金			
受取一般寄付金	0	0	0
⑦雑収益			
受取利息	37,070	99,230	△62,160
雑収益	1,246,829	280,375	966,454
⑧引当金戻入			
引当金戻入益	0	0	0
経常収益計	55,090,892	51,887,085	3,203,807

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
(1) 経常費用			
①事業費			
給料手当	4,906,537	8,084,926	△3,178,389
臨時雇賃金	3,594,400	1,219,000	2,375,400
旅費交通費	262,030	558,485	△296,455
通信運搬費	3,668,066	3,633,789	34,277
減価償却費	83,896	105,481	△21,585
消耗品費	172,031	294,980	△122,949
会議費	54,000	137,800	△83,800
印刷製本費	8,633,264	9,465,448	△832,184
研究発表会	3,749,047	2,991,582	757,465
IFORS会費	207,209	223,825	△16,616
IAOR購入費	0	138,102	△138,102
EJOR購入費	0	463,320	△463,320
APJOR購入費	125,710	131,342	△5,632
APORS関係費	0	100,000	△100,000
シンポジウム開催費	164,030	192,413	△28,383
セミナー開催費	397,167	368,147	29,020
ORサロン	279,687	562,930	△283,243
研究部会費	434,669	614,492	△179,823
支部運営費	1,408,181	1,471,823	△63,642
支部事業費	242,000	453,896	△211,896
表彰事業費	394,507	442,355	△47,848
諸謝金	700,528	919,500	△218,972
名簿作成費	0	0	0
受託研究費	1,000,000	1,000,000	0
FMES関係費	323,100	348,684	△25,584
広報活動費	585,656	0	585,656
近藤賞関係費	0	1,000,000	△1,000,000
②管理費			
給料手当	4,906,537	8,084,926	△3,178,389
退職給付	214,000	0	214,000
福利厚生費	1,452,291	2,439,115	△986,824
会議費	114,310	139,318	△25,008
旅費交通費	790,360	906,660	△116,300
通信費	654,045	434,737	219,308
外注費	3,321,824	0	3,321,824
事務用消耗品費	54,860	50,738	4,122
消耗品費	296,583	346,203	△49,620
修繕費	450,432	16,496	433,936
印刷費	510,413	115,918	394,495
家賃	2,870,552	3,750,384	△879,832
共益費	1,024,143	1,625,400	△601,257

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
水熱水料費	117,510	0	117,510
保険料	30,950	10,150	20,800
支払手数料	167,890	191,571	△23,681
租税公課	454,800	274,100	180,700
負担金	3,500	3,500	0
リース料	346,500	391,104	△44,604
OA化準備費	256,980	728,100	△471,120
損金	459,400	566,570	△107,170
雑費	1,228,490	70,890	1,157,600
③引当金繰入			
退職給与引当金繰入	254,000	△1,095,000	1,349,000
経常費用計	51,366,085	53,973,200	△2,607,115
当期経常増減額	3,724,807	△2,086,115	5,810,922
当期一般正味財産増減額	3,724,807	△2,086,115	5,810,922
一般正味財産期首残高	66,696,826	68,782,941	△2,086,115
一般正味財産期末残高	70,421,633	66,696,826	3,724,807
II. 指定正味財産増減の部			
指定正味財産期首残高	5,000,000	5,000,000	0
指定正味財産期末残高	5,000,000	5,000,000	0
III. 正味財産期末残高	75,421,633	71,696,826	3,724,807

平成24-25年度役員承認の件（第3号議案）

理事候補者

腰塚 武 志
鴨居 達 哉
半田 恵 一
斉藤 努
山下 英 明
水谷 昌 義
井上 明 也
宮本 裕一郎
大橋 守
滝沢 壽 樹

監事候補者

中川 慶一郎